

社会科学学習指導案（1年1組）

- 1 単元 ヨーロッパ州
- 2 単元の目標及び評価規準

目標	(1)-① 世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解することができる。		
	(1)-② ヨーロッパ州に暮らす人々の生活を基に、ヨーロッパ州の地域的特色を大観し理解することができる。		
評価規準	(2) ヨーロッパ州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現することができる。		
	(3) 世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にヨーロッパ州で見られる課題を主体的に追究しようとする。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	①世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解している。 ②ヨーロッパ州に暮らす人々の生活を基に、ヨーロッパ州の地域的特色を大観し理解している。	①ヨーロッパ州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。	①世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にヨーロッパ州で見られる課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元設定の理由

(1) 教材観

本単元は、空間的相互依存作用や地域などに関わる視点に着目して追究する活動を通して、ヨーロッパ州で見られる地球的課題の要因や影響を地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し表現する力を高め、ヨーロッパ州の地域的特色の影響を受けて、地球的課題が現れることを理解することができる。

EU 統合がもたらした「国家」や「そこに暮らす人々」へのメリットやデメリット、「産業」「生活・文化」「政治」「歴史的背景」などから EU 内外の協調と対立を軸に考える場面では、経済格差や EU 離脱などの地球的課題は、東西ヨーロッパの歴史的背景や文化の多様性、自然環境などの地域的特色の影響を受けて現れていることを理解することができる。加えて、ヨーロッパ州の課題は EU 内だけでなく、世界の経済や政治、他州の人々の営みにも影響を与え、互いに影響を与え合い変化していく関係であることを理解することができる。また、当事者の考えや思いを知ったり、新たな情報を手にしたりするために、ICT を活用して外部人材と対話する活動を通して、地域的特色とそこで起こる課題との関連性を多面的・多角的に考察する力を養うことができる。さらに、未来的な思考を単元の課題として設定し、自らの興味・関心に応じた内容を追究することで、持続可能なヨーロッパ州の実現を視野に主体的に課題を解決していこうとする態度を育成することができる。

(2) 生徒観（男子 19 名、女子 15 名 計 34 名）

- ・知識・技能については、EU の存在や統一通貨ユーロの使用、国境の検問がないことなど、概要を知っている生徒は多い。しかし、これまでの学習から、政治や経済、人間の営みなどが、他の場所や地域と相互に影響を与え合っていることについて理解できている生徒は少なかった。これは、世界の各州を一つのまとまりとして考え、相互作用の関係を捉えられていないことが原因であると考えられる。
- ・思考・判断・表現については、EU に関する質問に対して、「EU のおかげで経済活動が盛んになった」「EU をイギリスは離脱した」「多くの移民を受け入れている」などの回答が見られたが、「だから～のようになっている」という影響の部分や当事者意識が見られる記述はなかった。これは、一方的な情報を受け入れた主観のみで判断することが多く、そこに暮らす人々の立場から社会的事象を捉えて判断しようとしていなかったことが原因であると考えられる。
- ・主体的に学習に取り組む態度については、世界各地の人々の生活と環境の学習において、各気候帯の課題や変容を粘り強く追究しようとする様子が言動や振り返りシートから見られた。これは、各気候帯がもつ特色と社会の変容や人間の営みの関係性に興味をもち、新たな気付きや疑問と学習内容を振り返りシートなどから調整しながら、課題解決への意欲を維持していたからだと考えられる。

4 指導と評価の計画（全7時間計画）

過程	時間	◎目標・課題	○学習活動	重点	記録	備考
つかむ	1	◎資料からヨーロッパ州を特色付ける地理的事象を見いだす活動を通して、ヨーロッパ州に関する社会的事象を意欲的に追究しようとしている。 ヨーロッパ州に関する資料を基に、単元の課題を設定しよう。	○ヨーロッパ州の地域的特色や課題、既習の知識から生じた疑問や興味を基に、単元の課題を設定し、その予想を立てる。 ○単元の課題の解決に向けて、ヨーロッパ州の社会的事象において興味や関心が高まった事柄から、追究する内容を設定する。	態		態①：行動観察 記述分析 ・産業、生活・文化、政治、歴史的背景などに着目して、EUを巡る多様な考えがあることを知り、問いを見いだし予想している。
		単元の課題：5年後のEUはどうあるべきか？				
追究する	1	◎ヨーロッパ州の多様性や共通性を資料から読み取る活動を通して、宗教や民族、自然環境や歴史的背景などの地域的特色を理解することができる。 ヨーロッパ州に暮らす人々は、どのような影響を受けて生活しているのか？	○既存の知識や年表などの資料を見て、ヨーロッパ州がたどってきた歴史を確認する。 ○気候区の図や雨温図、農業地域の分布図を基に、その関連性について話し合う。 ○言語とキリスト教宗派の分布図、移民者の推移のグラフからヨーロッパ州の共通性と多様性を読み取り、地域的特色についてまとめる。	知		知②：行動観察 記述分析 ・ヨーロッパ州に暮らす人々の生活を基に、宗教や民族、自然環境や歴史的背景などの地域的特色を大観し理解している。
	3	◎調査や外部人材と対話する活動を通して、空間的相互依存関係や地域に着目して地域的特色や課題の要因と影響などを理解することができる。 EUができたことによる成果と課題は何か？	○ヨーロッパ州の地域的特色や課題について、根拠となり説得力を高める情報を収集し、整理・分析をする。 ○外部人材との対話を通して、当事者の考えを知り、課題解決に関連付けながらまとめる。	知	○	知①：行動観察 記述分析 ・経済格差やEU離脱の動きなどは、主義の対立や自然環境、移民などの影響を受けて、現れることを日本との比較から理解している。
る	1 (本時)	◎EU内の離脱の動きがどのような影響をもたらすのかを話し合う活動を通して、EUが抱える課題やその要因の共通点を多面的・多角的に考察することができる。 EU離脱の動きは、EU内外にどのような影響を与えたのだろうか？	○前時までにまとめた、EUができたことによる成果と課題について、発表する。聞く側は、自分が追究した内容との共通点を見つける。 ○追究した内容をグループで共有し、根拠を明らかにして自分の立場を決め、「EU加盟国の離脱をどのように考えるか？」について議論しまとめる。	思	○	思①：行動観察 記述分析 ・EU内外の政治や経済、国内の対立などに与える影響を捉え、そこからEU離脱の要因である経済格差や移民問題等の共通点を考察し表現している。
まとめる	1	◎今後のヨーロッパ州の在り方について話し合う活動を通して、どのように変容していくことが望ましいのか、様々な視点や立場から考えることができる。 学習内容を結び付け、単元の課題の結論をまとめよう。	○追究した内容と前時に議論した内容などを材料として、今後のヨーロッパはどうあるべきかを話し合い、単元の課題に対する自分の考えをまとめる。 ○「グループ→クラス全体」の流れで単元の課題に対する結論を話し合い、まとめる。	思 態	○	思①：行動観察 ○ ・ヨーロッパ州で見られる自然環境や歴史的背景などの特色と経済格差や移民問題などの課題の要因や影響を関連付けて、今後の在り方を多面的・多角的に考察している。 態① 記述分析 ・学習を振り返り、関心をもち、さらに調べたいことや、よく分からなかったことを整理し、これからの学習に意欲的に取り組もうとしている。

5 問題解決の過程における ICT 活用の位置付け

ICT の活用のポイント **個** **協**

つかむ

1 単元の課題をつかむ。

○単元の課題を設定し、学習の見通しをもつ。

「5年後のEUは、どうあるべきか？」

- ・ヨーロッパ州の地域的特色や課題、既習の知識から生じた疑問や興味を基に、単元の課題を設定し、その予想を立てる。
- ・単元の課題の解決に向けて、ヨーロッパ州の社会的事象において興味や関心が高まった事柄から、追究する内容を設定する。

個 既存の知識に疑問をもつようなEUの離脱問題や移民問題、経済格差などに関する資料を提示することで、EUへの興味や関心と課題の解決意欲を高められるようにする。

個 つかむ過程において、プレゼンテーションソフトを活用することで、既存の知識を引き出すとともに、「産業」「生活・文化」「政治」「歴史的背景」などの視点に興味や関心が高められるようにする。

個 ロイロノートに提出されたワークシートを基に追究の見通しを問うことで、考えの根拠の妥当性や調査の方向性などに気付き修正できるようにする。

個 地形や地名、気候や相関関係をデジタル白地図に記入し視覚化することで、具体的な知識を習得できるようにするとともに、追究する内容に関する情報も書き入れることで、解決意欲を高められるようにする。

追究する

2 単元の課題解決に向け単位時間ごとに追究する。

○ヨーロッパ州の多様性や共通性を資料から読み取る。

- ・既存の知識や年表などの資料を見て、ヨーロッパ州がたどってきた歴史を確認する。
- ・気候区の図や雨温図、農業地域の分布図を基に、その関連性について話し合う。
- ・言語とキリスト教宗派の分布図、移民者の推移のグラフからヨーロッパ州の共通性と多様性を読み取り、地域的特色についてまとめる。

○ヨーロッパ州の地域的特色や課題について、追究する内容に着目して調べる。

- ・ヨーロッパ州の地域的特色や課題について、根拠となり説得力を高める情報を収集し、整理・分析をする。
- ・外部人材と対話をして、当事者の考えを知り、課題解決に関連付けながらまとめる。

協 シンキングツールなどで例示し合うことで、他者に伝わりやすく分かりやすい内容にするためにどのような情報を収集すべきか、収集した情報をどのように整理し分析することが適切か判断できるようにする。

協 メール機能などを活用し、自ら外部人材(ヨーロッパ各国大使館や産業関係者など)にアクセスし対話することで、課題解決に向けた意欲を高めるとともに、当事者意識を反映したまとめができるようにする。

○EUの今後について、根拠と立場を明確にして議論する。

- ・前時までにまとめたEUができたことによる成果と課題について、プレゼンテーションする。聞く側は、自分が追究した内容との共通点を見つける。
- ・追究した内容をグループで共有し、根拠を明らかにして自分の立場を決め、「EU加盟国の離脱をどのように考えるか？」について議論しまとめる。

個 シンキングツールを使い、話し合いの内容を視点や立場に分けて記録することで、課題解決の材料として、個人のまとめにつなげることができるようにする。

個 ロイロノートに提出されたそれぞれのプレゼンテーションや振り返りシートから、結論を導くために付け足したい必要な情報を教師が把握しアドバイスすることで、空間的相互依存作用や地域に着目して、新たな考えや価値に気付くことができるようにする。

まとめる

3 課題解決の過程を振り返り、単元の課題に対する結論をまとめる。

○今後のヨーロッパ州の在り方について話し合う。

- ・追究した内容と前時に議論した内容などを材料として、今後のヨーロッパはどうあるべきかを話し合い、単元の課題に対する自分の考えをまとめる。
- ・「グループ→クラス全体」の流れで単元の課題に対する結論を話し合い、まとめる。

協 ロイロノートで提出された前時の振り返りシートを回答共有し、ヨーロッパ州の地域的特色や地球的課題の要因や影響を関連付けて見いだすことで、顕在化するヨーロッパ州の課題は、地域的特色の影響を受けて現れていること、また、他州と比較しその現れ方を理解することができるようにする。その上で、概念的な知識を構成できるようにする。

6 本時の展開 (6 / 7)

(1) 目標

EU 内の離脱の動きがどのような影響をもたらすのかを話し合う活動を通して、EU が抱える課題やその要因の共通点を多面的・多角的に考察することができる。

(2) 展開

主な学習活動		指導上の留意点及び支援・評価
予想される生徒の反応	ICT活用<分類>	
<p><「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させるための ICT の活用</p> <p>協 共有ノートを活用し、多様な他者の考えやアドバイスから別の視点や立場に気付かせる。</p> <p>個 ロイロノートへの提出物を基にして、学習状況に応じた個別の支援をする。</p>		
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p>○前時の学習内容を振り返り、本時の課題を確認する。</p> <p>・イギリスが離脱したのは知っていたけれど、それはEU内外にどのような影響を与えたのだろうか。</p>	<p>○提示された資料を見て、本時の課題解決に向け見通しをもつ。</p> <p><主体的な学びの促進></p>	<p>○空間的相互依存作用や地域に着目できるようにするために、PowerPoint を活用し人口増減に関する資料を提示する。個</p> <p>○现阶段での本時の課題に対する結論をアンケート機能を活用し可視化することで、課題解決への意欲をもてるようにする。個</p>
<p>課題：EU 離脱の動きは、EU 内外にどのような影響を与えたのだろうか？</p>		
<p>2 それぞれが追究してきた内容を発表する。</p> <p>○前時までにまとめた、EU ができたことによる成果と課題について、発表する。聞く側は、自分が追究した内容との共通点を見つける。</p> <p>・自分が調べた課題と離脱の理由が関係しそうだぞ。</p> <p>・追究した内容は異なるけれど、課題の共通点を見つけよう。</p>	<p>○プレゼンテーションをする。</p> <p><データの活用></p> <p>○プレゼンテーション内容を共有ノートにメモをする。<可視化・共有></p>	<p>○生活や政治などの新たな視点やヨーロッパ以外の国々の立場からのEU に対する考え方をまとめて生かすために、共有ノートで共同編集し、他者から他者へのアドバイスを自分事として共有する。協</p> <p>○地域的特色と結び付けたり空間的相互依存作用に着目したりすることができるようにするために、「なぜこのような課題が生じたのか?」「これは日本でもありえることか?」という視点を与える。</p>
<p>3 プレゼンテーションを基に、考察する。</p> <p>○追究した内容をグループで共有し、根拠を明らかにして自分の立場を決め、「EU加盟国の離脱をどのように考えるか?」について議論しまとめる。</p> <p>・離脱することで、EUの中にいると、できなかったことができるようになり、自国の利益を考えるのであればプラスに働くあることが考えられるが、EUの他の国からすればEUの信頼が失われ、政治や経済の面でマイナスになる部分が出てくるのが考えられる。</p>	<p>○メモ内容を話合いの視点に基づいて議論する。</p> <p><試行錯誤></p> <p>○グループでの議論の内容をテキストにまとめ、提出する。<焦点化></p> <p>○提出された考えを比較し、関連付ける。<焦点化></p>	<p>○イギリスがEUを離脱した理由を示し、イギリスとイギリス以外の立場や国内の賛成派、反対派の立場から考えることで、要因の根底には、各国の国民の幸せや国の豊かさが関係することに気付き、本時のまとめにつなげることができるようにする。協</p> <p>○シンキングツールを使い、話合いの内容を視点や立場に分けて記録することで、課題解決の材料として、個人のまとめにつなげることができるようにする。個</p>
<p>4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。</p> <p>○学習内容を振り返り、単元の課題解決に向けて考えたことや気づきを、振り返りシートに記入する。</p>	<p>○本時の学びを振り返りシートに記入する。<思考の整理・データの蓄積></p>	<p>○この単元で意識してきた空間的相互依存作用や地域に着目した内容と、単元の学習のつながりを意識した記入ができるようにするために、これまでの振り返りシートへの記述を読み返すよう助言する。個</p>
<p><まとめ></p> <p>・経済格差や移民問題などが EU 離脱の動きの原因となり、EU 以外の国からは、政治や経済面での信頼を失った。EU 内では、国家間や国内での対立も生み出している。</p>		

【思考・判断・表現】
EU 内外の政治や経済、国内の対立などに与える影響を捉え、そこから EU 離脱の要因である経済格差や移民問題等の共通点を考察し表現している。
(行動観察・記述分析)